

Ⅱ 平成22年度事業報告書

1. 概 要

平成22年度は、「事業内容の見直しを図ることによる更なる公益性の増進及び会員サービスの充実」を基本方針として諸施策に取り組んで参りました。その結果、ほぼ年度当初の計画、目標を達成できました。具体的には、講演会等事業の推進、奨励金の拡充、訓練・養成事業の促進、調査・研究事業の推進等の充実に取り組みました。平成21年度から進めてきた特例民法法人から公益社団法人認定取得申請については第56回通常総会にて定款変更の承認、理事会にて移行認定基準適合性や協会諸規定改定の承認を得てその準備が完了しましたが、最終的な申請については協会を取り巻く諸情勢を勘案し平成23年度に持ち越すこととしました。

一方、会員に関しては非常勤理事の協力の下、新入社員入会キャンペーン等により、前年度とほぼ同規模の会員入会を確保できましたが、現下の厳しい経済情勢および少子化等により年度末会員数は減少いたしました。

収支見通しにつきましては、前年度に対し収入減ではありますが、各種費用削減効果により、若干の黒字を計上できることになりました。

以下に平成22年度事業活動の主な実績を報告いたします。

1. 公益性の増進

(1) 訓練養成事業：

- 技能証明学科試験受験者に対する自己能力診断テストの内容充実（無料）
- 講習会の充実（ヒューマンファクター、航空法規、学科試験受験講習会、内部品質監査、基本技術、等を開催）

(2) 図書頒布事業：

- 教育図書「航空工学講座シリーズ」の編纂体制確立
- 学科試験ガイドの全面改訂版、新航空法規解説の改訂版を発行

(3) 機関誌事業：

- 「航空技術」の内容については編集委員会委員を始め一般読者や学生会員を含めたモニターによるアンケートを実施し、意見や記事への評価を集約して「航空技術」誌の編集に反映

(4) 調査・研究事業：

- 航空従事者学科試験問題に係る調査・検討を実施
- 国土交通省航空局から耐空性改善通報印刷加工作業等を受託
- （財）航空保安無線システム協会主催の小型機対象の「GNSSセミナー」の事務局業務を受託し実施
- 航空運送事業会社の整備関係コンサルタントを実施
- 航空整備士養成学校で航空法の特別授業を実施

(5) 講演会等事業：

- 異業種分野との交流による相互啓発を目的にグローバルな「セーフティ・サポート」をテーマにシンポジウムを継続的に開催
- 航空教室の開催（大阪、千歳、静岡、中部、那覇、福岡、鹿児島、東京）

(6) 奨励金支給事業：

- 航空整備士等の技術者をめざす学生20名に奨励金を支給

(7) 広報等事業：

- 航空功労者の表彰候補者の推薦（褒章表彰（春・秋）、国土交通大臣表彰、東京／大阪航空

局長表彰]

2. 公益社団法人認定申請の準備

- (1) 定款変更の承認
- (2) 財務指標の認定基準に対する移行認定基準適合性の承認
- (3) 諸規程改定の承認

3. 会員の確保

- (1) 新入社員入会キャンペーン等による新入会員の確保／平成23年3月末現況、()は前年度末個人会員計8,187(8,846) 内訳・正5,633(6,248) 学生2,554(2,598)、賛助会員166(175)
- (2) 機関誌「航空技術」に世界中の航空機事故及び不具合情報を簡潔にして「こうくうあんぜんにゅーす」として掲載、「読者のひろば」への寄稿を開始
- (3) 「航空教室」の開催方法、内容の工夫による学生会員の入会促進

2. 事業

A 訓練養成事業

平成22年度実績は、開催回数延べ39回、受講者数延べ487人と前年度より回数は2回減少したが、人数は上回った。

- | | | | |
|-----|---------------------|--------|---------------|
| (1) | 航空機整備基本技術講習会 | | |
| | 第73回(ANA) | 受講者13名 | (08.02~08.11) |
| | 第74回(JAL) | 受講者11名 | (01.18~01.27) |
| (2) | 航空整備品質管理講習会 | | |
| | 第61回(協会教室) | 受講者11名 | (07.01~07.02) |
| | 第62回(協会教室) | 受講者10名 | (10.28~10.29) |
| | 第63回(協会教室) | 受講者7名 | (01.27~01.28) |
| (3) | アビオニクス基礎講習会 | | |
| | 第37回(協会教室) | 受講者5名 | (07.12~07.14) |
| | 第38回(協会教室) | 受講者15名 | (11.10~11.12) |
| (4) | 航空整備士受験講習会 | | |
| | 第16回(協会教室) | 受講者12名 | (06.09~06.11) |
| | 第17回(協会教室) | 受講者32名 | (02.02~02.04) |
| (5) | ヒューマンファクターセミナー(HFS) | | |
| | 第36回(協会教室) | 受講者11名 | (04.15~04.16) |
| | 第37回(協会教室) | 受講者15名 | (07.15~07.16) |
| | 第38回(協会教室) | 受講者12名 | (07.26~07.27) |
| | 第39回(協会教室) | 受講者13名 | (11.18~11.19) |
| | 第40回(協会教室) | 受講者12名 | (02.17~02.18) |
| | 第19回リカレント(協会教室) | 受講者5名 | (05.20) |
| | 第20回リカレント(協会教室) | 受講者7名 | (10.08) |
| | 第21回リカレント(協会教室) | 受講者9名 | (02.24) |
| (6) | 航空法規講習会 | | |
| | 第16回(協会教室) | 受講者19名 | (06.17~06.18) |
| | 第17回(協会教室) | 受講者9名 | (09.29~09.30) |
| | 第18回(協会教室) | 受講者11名 | (03.10~03.11) |
| | 第17回リフレッシュ(協会教室) | 受講者8名 | (10.07) |
| (7) | 内部品質監査講習会 | | |

第17回(協会教室)	受講者 9名	(05.21)
第18回(協会教室)	受講者 8名	(10.01)
第19回(協会教室)	受講者 6名	(03.09)
(8) 受託講習会(講師派遣形態)		
法規リフレッシュ(東京航空計器)	受講者 16名	(06.09)
法規リフレッシュ(川崎重工業)	受講者 8名	(09.15)
整備士受験講習会(日本文理大学)	受講者 34名	(02.21~02.23)
HFS(フジドリームエアラインズ)	受講者 9名	(09.30)
HFS(フジドリームエアラインズ)	受講者 9名	(10.12)
HFS(共立航空撮影)	受講者 18名	(12.14)
HFS リカレント(ファーストエアートランスポート)	受講者 9名	(05.18)
HFS リカレント(アイベックスエアラインズ)	受講者 14名	(07.15)
HFS リカレント(航空機材)	受講者 10名	(11.08)
HFS リカレント(新日本ヘリコプター)	受講者 10名	(01.25)
HFS リカレント(西日本空輸)	受講者 13名	(02.23)
HFS リカレント(新日本ヘリコプター)	受講者 10名	(02.22)
HFS リカレント(サンコー・エア・セルテック)	受講者 40名	(02.26)
品質管理セミナー(第三管区海上保安本部 航空整備管理センター)		
	受講者 7名	(06.02~03)
内部品質監査(第三管区海上保安本部 航空整備管理センター)		
	受講者 10名	(02.09)

B 図書事業

航空工学講座の「【7】タービン・エンジン」、「学科試験ガイド」、「新航空法規解説」の改訂版を発行した。

(1) 専門図書

【新刊】

2011年版航空整備士学科試験問題集・問題編	1,400部 (01.15)
2011年版航空整備士学科試験問題集・解答編	1,400部 (01.15)

【改訂版】

航空工学講座【7】タービン・エンジン	4,000部 (03.31)
学科試験ガイド	700部 (08.31)
新航空法規解説	1,300部 (03.31)

【増刷】

航空工学入門	2,000部 (03.31)
飛行機の構造設計	1,200部 (03.31)
航空力学Ⅱ	1,000部 (03.31)
カラー図解ヘリコプタ入門	500部 (03.31)
航空工学講座【9】航空電子・電気的基础	1,300部 (03.31)
航空工学講座【10】航空電子・電気装備	1,300部 (03.31)
航空工学講座【11】ヘリコプタ	1,200部 (03.31)

(2) 国土交通省航空局関係図書

航空機検査業務サーキュラー集(追録)	0件
耐空性改善通報(TCD)	260件

(3)	取次図書	
	国 内	125 件
	国 際	15 件
(4)	航空用具	15 件

C 機関誌事業

機関誌「航空技術」の各号における特集記事は以下の通り。

ボンバルディア DHC-400 型機について	(8) ～ (9)	(4 月、6 月)
CFRP 用ドリル (R ドリル) の開発		(4 月)
エアバス A320 型機について		(5 月、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月)
航空機用検査支援システムの開発		(5 月)
ディーゼル・エンジンを小型機に装備する改修		(6 月)
アグスタ式 AW139 型の概要 (1) ～ (4)		(7 月、9 月、11 月、1 月)
Engine Starter 信頼性改善施策		(7 月)
朝日航洋、名古屋に新格納庫完成		(8 月)
ブリードシステムが消えた ボーイング 787 のイノベーション		(8 月)
空の発電所 ボーイング 787 のイノベーション		(9 月)
ファンボロー航空ショー2010 見て歩く記		(9 月)
RIAT 写真アルバム		(10 月)
AIRBUS MILITARY A400M GRIZZLY		(10 月)
全電気駆動回転翼機と OPOC 型ディーゼル・エンジン		(10 月)
自由自在な飛行を目指して 垂直離着陸型飛行ロボットの研究開発		(11 月)
47th Reno National Championship Air Races and Air Show		(12 月)
A380 型機、羽田空港と新千歳空港へ飛来		(12 月)
代々木初飛行までの 7 日間		(12 月)
飛行機、火星の空を飛ぶ		(1 月)
天空の山々に会ってきました		(2 月)
わが国の民間航空機用エンジン事業のこれまでと将来展望		(2 月)
787 開発への参画と導入準備		(3 月)
複合材と非破壊検査		(3 月)

D 調査・研究事業

(1) 航空従事者技能証明学科試験問題の標準化検討会

航空整備士学科試験問題についての調査・検討を下記内容で実施した。

- 1) 過去に出題した学科試験問題及び新たに作成した標準的問題を精査しシラバス毎に整理
- 2) 法改正及び制度改正に伴う科目毎のシラバスを精査検討

(2) (財) 航空保安無線システム協会が主催する小型機対象の「GNSSセミナー」の事務局を受託し実施した。

第2回 (社) 日本航空技術協会 教室 (11.01)	参加者数 31 名
【講演】「米国アラスカ州における小型機のGNSS利用について」	佐藤 琢
「航空航法におけるGPS」	星野尾一明
「RNAV/RNP運航とGNSS」	梶原 秀典
第3回 (社) 日本航空技術協会 教室 (01.19)	参加者数 31 名

- 【講演】「CARATS概要」 今井 洋一
「近年における航空事故の傾向と安全対策」 河合 良則
「ドルニエ機におけるMSAS運用状況」 池長 弘善
- (3) 航空運送事業会社の整備関係コンサルタントを実施した。
(4) 航空整備士養成学校で航空法の特別授業を実施した。
(5) 外国団体との情報交換
Flight Safety Foundation
(6) 海外視察ツアー
① ファーンボロ・インターナショナル 07.17～07.24
② リノ・エアレース&ショー 09.17～09.23

E 講演会等事業

- (1) 講演会・研究発表
- ① 「空の日・宇宙の日」記念特別講演会 参加者数 134 名
航空会館 (9. 14) / (社) 日本航空宇宙学会、(財) 日本航空協会と共催 /
「わが国の民間航空機用エンジン事業のこれまでと将来展望」 伊藤 源嗣
「『かぐや』で得られた科学・工学成果」 佐々木 進
- ② 第48回飛行機シンポジウム 参加者数 340 名
静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ (11. 30～12. 2) /
(社) 日本航空宇宙学会と共催 /
【特別講演】
「B787 の開発と導入準備について」 並木 広行
【企画講演】
「複合材と非破壊検査」 椿 健二
「ムービング化による構造組立の生産性向上」 森 寛人
「次世代ネットワーク管制技術による環境負荷低減について」 山根 章弘
「温暖化ガス削減に向けた航空エンジンでの研究開発動向と IHI の取り組み」 今村 満勇
「民間航空機による地球温暖化ガスのサンプリング」 本多 毅
- ③ セーフティフォーラム 2010 参加者数 412 名
日本の航空 100 年「航空技術と航空安全」
東京大学 本郷キャンパス 安田講堂 (10. 27) /
東京大学総括プロジェクト機構航空イノベーション総括寄付講座と共催 /
国土交通省航空局、(社) 日本航空宇宙学会、(独) 宇宙航空研究開発機構、(社) 日本航空機操縦士協会、東京大学の後援 /
【プレゼンテーション・セッション】
「航空技術を牽引する欧州航空産業」 グレン・S・フクシマ
「環境に配慮した未来の航空機の姿」 ライナー・オーラー
「航空機整備の品質について考える」 齋藤 昌彦
【トーク・セッション】
「航空・今と未来」 鈴木 真二、島村 淳、張替 正敏、中野 計人、齋藤 隆
- ④ 第23回航空安全シンポジウム 参加者数 227 名
「現場で求めるセーフティ・サポート」 — 航空と医療
JAL ビル ウイングホール (2. 25) / 国土交通省航空局の後援 /

「ヒューマンエラー対策の考え方」

河野 龍太郎

「将来の航空交通システムに関する長期ビジョン」

仲田 貴文

「SMS 導入、現在進化中」

村上 孝

「ヒヤリハット、改善提案活動の推進」

野口 和人夢

(2) 航空教室 夢は叶う Yes I Can

(社) 日本航空機操縦士協会と共催/国土交通省航空局の後援/

「空の日」・「空の旬間」実行委員会協賛

① 夢は叶う Yes I Can (大阪地区)	参加者 63 名 (06.20)
② 夢は叶う Yes I Can (千歳地区)	参加者 86 名 (07.11)
③ 夢は叶う Yes I Can (静岡地区)	参加者 24 名 (10.03)
④ 夢は叶う Yes I Can (中部地区)	参加者 103 名 (10.24)
⑤ 夢は叶う Yes I Can (那覇地区)	参加者 48 名 (11.14)
⑥ 夢は叶う Yes I Can (福岡地区)	参加者 51 名 (12.05)
⑦ 夢は叶う Yes I Can (鹿児島地区)	参加者 29 名 (01.30)
⑧ 夢は叶う Yes I Can (東京地区)	参加者 93 名 (02.06)

F 奨励金支給事業

航空整備士、航空技術者等を目指す航空専門学校および大学（航空関連学科）等の学生 20 名に対して奨励金を支給し、航空界の人材育成の促進を図る。また、表彰審議会において審査に基づき選考した。

(学) 中日本航空専門学校、(学) 日本航空専門学校、(学) 国際航空専門学校、

(学) 東日本航空専門学校、(学) 大阪航空専門学校、(専) 日本航空大学校。

G 広報等事業

航空関係功労者については、表彰審議会において必要に応じ推薦順位を付与し、当局に表彰候補者の推薦を行った。

(1) 航空関係功労者 表彰受賞者（敬称略）

○黄綬褒章（春）：秋元 郁夫 宇木 吉三 栗山 史郎 丸山 一三
(4 名)

○黄綬褒章（秋）：杉谷 英治
(1 名)

○国土交通大臣表彰：小山 良一 生形 茂 中村 泰久 佐伯 誠治
(14 名) 田中 康夫 今野 昌憲 山梨 善弘 久保寺治男
関根 幸夫 松尾 政彦 杉浦 誠二 鈴木 久雄
望月 清光 氏原 公明

○東京航空局長表彰：松田 一城 川端 郁雄 山口 義雄 村山曜一郎
(12 名) 白石 進 並木 治 松木 良夫 長井 俊郎
平原 範市 栗川 敏巳 鷄尾 晋 栢山 光則

○大阪航空局長表彰：松尾 千敏 渡邊 徹行 本庄 雄治 平田 俊一
(9 名) 村本 政己 青木 晴夫 照喜名邦雄 大工 進
中川 純男

(2) 社団法人日本航空技術協会 会長賞

賛助会員において、企業方針として行う研究・開発、グループあるいは個人の業務改善、航空技術者の効果的効率的な指導などにおいて多大な貢献が合ったと認められる活動に対

し、表彰審議会において審査要領に基づき選考した。

○会長賞：

業務改善の部： TEAM ELT・ANAアビオニクス（株）・ELTの不具合発見と
情報発信

○表彰審議会委員長特別賞：

業務改善の部： 辺見 勝明（代表）・全日本空輸（株）・PW4090/4074 ENGINE 2.5 Bleed
Valve Rigging 方法の改善について

業務改善の部： IHI 航空宇宙事業本部 瑞穂工場 精密機器グループ・（株）IHI
I・TRENT900 VSV Actuator 組立作業の改善

教育の部： ヘリコプター教員グループ 杉原秀則（代表）・（学）中日本航空専門学校・
ベル 206B フライト・コントロール、ハイドロリック・システム・トレー
ナーの製作

○奨励賞：

業務改善の部： 本田 直士（代表）・エアーニッポン（株）・B737-400/500 PRSOV 交
換工数の削減について

業務改善の部： 遠藤 勝也、岡野 真也・ANAエアクラフトテクニクス（株）・B777-300
ERENG 交換後の作業エラップスの短縮について

業務改善の部： 椿 健二・川崎重工業（株）・複合材と非破壊検査について

業務改善の部： 佐治 延龍、秋中 勉、新保 重光・ANAエンジンサービス（株）・
CF6-80C2 エンジン Post SB Type High Pressure Turbine 1 段 Disk に対
応した Tool の製作

業務改善の部： 佐伯 理恵・ANAエアロサプライシステム（株）・よみがえれLOO
SE PARTS

教育の部： 羽田整備部 作業品質担当・ANAフライトラインテクニクス（株）・QY
T（品質・予知・トレーニング）の導入

(3) 社団法人日本航空技術協会 卒業生の会長賞

将来航空業界を目指す学生の向上心を高めていただく一助として、審査に基づき選考し、
学業優秀な卒業生 1 名に授与します。

（学）中日本航空専門学校、（学）日本航空専門学校、（学）国際航空専門学校、

（学）東日本航空専門学校、（学）大阪航空専門学校、（学）東京航空専門学校、

（専）日本航空大学校、（学）日本航空高等学校 石川。

H その他公益活動

以下の通り他団体の活動に協力している。

- ① （財）航空振興財団 理事
- ② （財）航空輸送技術研究センター 評議員
- ③ （財）航空医学研究センター 理事
- ④ 日本工業標準調査会「航空・宇宙機技術専門委員会」委員
- ⑤ （社）日本非破壊検査協会「非破壊検査技術者技量認定委員会」委員
- ⑥ （社）日本非破壊検査協会「日本非破壊検査協会諮問委員会」委員
- ⑦ （社）日本工学会「事務研究委員会」委員
- ⑧ 「空の日」・「空の旬間」実行委員会 監事、幹事会幹事
- ⑨ （財）日本航空協会「航空宇宙輸送研究会」委員
- ⑩ （社）日本航空宇宙学会「飛行機シンポジウム」企画幹事会 幹事

- ⑪ (財) 防衛調達基盤整備協会「システム審査センター運営委員会」委員
- ⑫ I C A S (国際航空科学連盟)「国内委員会」委員
- ⑬ I S A S I 2 0 1 0 Local Seminar Committee 委員

3. 会員数の現状

A 個人会員総数 (平成23年3月31日現在)	8,187 名
(1) 正 会 員	5,633 名
① 航空運送事業等	3,022 名
全日本空輸 1,261 名、日本航空インターナショナル 801 名、中日本航空 153 名、日本トランスオーシャン航空 143 名、朝日航洋 135 名、エアーニッポン 122 名、日本エアコミューター 34 名、新日本ヘリコプター 33 名、東邦航空 27 名、西日本空輸 16 名、アカギヘリコプター 13 名、その他 297 名	
② 整備・製造	1,360 名
JALエンジニアリング 303 名、ジャムコ 193 名、全日空整備 149 名、三菱重工業 109 名、IHI 85 名、ANAエアクラフトテクニクス 84 名、川崎重工業 78 名、富士重工業 60 名、日本飛行機 42 名、日東航空整備 23 名、東京航空計器 1 名、その他 233 名	
③ 空港関連事業	67 名
国際空港事業 6 名、JALグランドサービス 5 名、エージェンシー 2 名、その他 54 名	
④ 官公庁	287 名
海上保安庁 56 名、警察航空隊 54 名、航空自衛隊 44 名、陸上自衛隊 37 名、消防・防災航空隊 28 名、国土交通省航空局 17 名、海上自衛隊 15 名、その他 36 名	
⑤ 学 校	92 名
中日本航空専門学校 25 名、日本航空専門学校 13 名、国際航空専門学校 6 名、東日本航空専門学校 3 名、崇城大学 2 名、その他 43 名	
⑥ 報道、航空団体	71 名
朝日新聞社 20 名、毎日新聞社 15 名、日本航空技術協会 11 名、読売新聞社 8 名、その他 17 名	
⑦ その他	731 名
(2) 学生会員	2,554 名
中日本航空専門学校 817 名、日本航空専門学校 577 名、日本航空学園・輪島校 338 名、国際航空専門学校 355 名、大阪航空専門学校 265 名、東日本航空専門学校 145 名、崇城大学 22 名、日本文理大学 10 名、その他 25 名	
B 賛助会員 (平成23年3月31日現在)	166 社
(1) 航空運送事業	48 社
アイベックスアビエーション (株)	アイベックスエアラインズ (株)
アカギヘリコプター (株)	朝日航空 (株)
朝日航洋 (株)	朝日ヘリコプター (株)
アジア航測 (株)	天草エアライン (株)
(有) アルファアビエーション	エアーニッポン (株)
エアフライトジャパン (株)	ANAウイングス (株)
エクセル航空 (株)	エス・ジー・シー佐賀航空 (株)
大阪航空 (株)	岡山航空 (株)

オールニッポンヘリコプター (株)
川崎航空 (株)
共立航空撮影 (株)
静岡エアコミュータ (株)
 (株) ジャルウェイズ
新中央航空 (株)
スカイネットアジア航空 (株)
 (株) スターフライヤー
セントラルヘリコプターサービス (株)
東邦航空 (株)
中日本航空 (株)
日本エアコミューター (株)
日本航空 (株)
 (株) フジドリームエアラインズ
北海道航空 (株)
琉球エアコミューター (株)

(2) 整備・製造

朝日エンジニアリング (株)
インターアビエーション・ジャパン (株)
ANAエアクラフトテクニクス (株)
ANAエアロテック (株)
ANAテクノアビエーション (株)
ANAフライトラインテクニクス (株)
MHIエアロエンジンサービス (株)
川崎重工業 (株)
グッドイヤー エイビエーション ジャパン
航空機材 (株)
三徳航空電装 (株)
 (株) ジャプコン
 (株) JALエンジニアリング
全日空整備 (株)
中菱エンジニアリング (株)
 (株) 東京機内用品製作所
 (株) 徳島ジャムコ
日新電装 (株)
日本アルカテル・ルーセント (株)
日本クラウトクレマー (株)
日本タービンテクノロジー (株)
日本特殊工業 (株)
富士重工業 (株)
三菱重工業 (株)
横河電機 (株)
エアバス・ジャパン (株)
エンブラエル アジア パシフィック

オリエンタルエアブリッジ (株)
北日本航空 (株)
四国航空 (株)
 (株) ジェイエア
 (株) ジャルエクスプレス
新日本ヘリコプター (株)
スカイマーク (株)
全日本空輸 (株)
ダイヤモンドエアサービス (株)
東北エアサービス (株)
西日本空輸 (株)
日本貨物航空 (株)
日本トランスオーシャン航空 (株)
 (株) 北海道エアシステム
北海道国際航空 (株)
 (株) ローゼン航空

 (株) IHI
ANAアビオニクス (株)
ANAエアロサプライシステム (株)
ANAエンジンサービス (株)
ANA長崎エンジニアリング (株)
ANAワークス (株)
大森精工機 (株)
菊水電子工業 (株)
小糸工業 (株)
 (株) 光洋
JASPA (株)
 (株) ジャムコ
 (株) JALシミュレーターエンジニアリング
タレスジャパン (株)
角田電機工業 (株)
東京航空計器 (株)
ナブテスコ (株)
日東航空整備 (株)
日本航空高圧 (株)
日本航空電子工業 (株)
日本特殊陶業 (株)
日本飛行機 (株)
 (株) ブリヂストン
三菱航空機 (株)
ミネベア (株)

57 社

ザ・ボーイング・カンパニー

ゼネラル・エレクトリック・インターナショナル・インク

ユナイテッド・テクノロジー インターナショナル オペレーションズ

プラット&ウィットニー

ボンバルディア・カナディア・サービス・リミテッド

ロールス・ロイス インターナショナル リミテッド

(3) 空港関連事業

16 社

(株) エージーピー

ANAエアポートサービス (株)

(株) エス・アイ・エンジニアリング

大阪ハイドラント (株)

沖縄エアポートサービス (株)

空港施設 (株)

(株) 航空システムコンサルタンツ

国際空港事業 (株)

コクサイエアロマリン (株)

(株) JALグランドサービス

(株) JALテクノサービス

JTAサザンスカイサービス (株)

全日空モーターサービス (株)

東京航空クリーニング (株)

成田国際空港 (株)

日本空港給油 (株)

(4) 商 社

19 社

伊藤忠商事 (株)

海外アビオテック (株)

双日 (株)

JALエアロコンサルティング (株)

(株) JALエアロパーツ

(株) JALUX

スナップオン・ツールズ (株)

住友商事 (株)

全日空商事 (株)

(株) ティーエムシーインターナショナル

第百商事 (株)

ナカノアビエーション (株)

日本エアロスペース (株)

(株) 富士インダストリーズ

丸紅 (株)

丸紅エアロスペース (株)

三井物産エアロスペース (株)

三菱商事 (株)

ユーロコプタージャパン (株)

(5) 独立行政法人

3 法人

(独) 宇宙航空研究開発機構

(独) 電子航法研究所

(独) 航空大学校

(6) 団 体 等

9 団体等

(社) 関西飛行協会

(財) 航空科学振興財団

(財) 航空振興財団

(財) 航空保安無線システム協会

(財) 航空輸送技術研究センター

中央職業能力開発協会

(社) 日本航空宇宙学会

(社) 日本航空機操縦士協会

(特定非営利活動法人) 日本ビジネス航空協会

(7) 学 校

14 校

(学) 大阪航空専門学校

(学) 国際航空専門学校

(学) 崇城大学

(学) 第一工業大学

(独) 千葉職業能力開発短期大学校

(学) 東京航空専門学校

(学) 中日本航空専門学校

(学) 成田航空専門学校

(学) 日本航空学園

(学) 日本文理大学

(学) 東日本航空専門学校

(学) 法政大学

(学) パシフィック テクノ カレッジ

(学) 宮崎ユニバーサル・カレッジ

上記のとおり報告いたします。

平成23年6月3日

社団法人 日本航空技術協会

会 長 今 井 孝 雄

副 会 長 伊 藤 博 行

同 佐 藤 亮 一

常務理事 赤 木 賢 一

同 笠 間 万寿雄